

平成 26 年 3 月 3 日提出

海外渡航調査報告書

東京大学大学院総合文化研究科
地域文化研究専攻博士課程
遠藤寛文（北米）

平成 25 年度「卓越した大学院拠点形成支援補助金」を活用した博士課程学生による論文作成支援事業にもとづき実施された海外渡航調査について、以下報告する。

報告者は、平成 26 年 2 月 16 日から 2 月 26 日にかけて、博士論文作成に必要な研究資料を収集するためアメリカ合衆国へ渡航した。渡航調査は首都ワシントン D.C. およびニューヨーク市で実施された。調査は主として 19 世紀前半のアメリカ政治史および奴隷制問題に関する史料を対象として実施された。

ワシントン D.C.には 2 月 16 日から 2 月 19 日まで滞在し、アメリカ連邦議会図書館 (Library of Congress) の手稿閲覧室 (Manuscript Reading Room) にて資料調査を実施した。現地では主としてマーティン・ヴァンビューレンとウィリアム・マーシイという二人の政治家の歴史資料を収集した。マーティン・ヴァンビューレンは第 8 代合衆国大統領となる人物であるが、他の多くの大統領とは異なり、活字化された史料集が十分に編纂されていない。このため、今回は手稿閲覧部にマイクロフィルム媒体にて保存されている彼の手稿集 *Martin Van Buren Papers* を閲覧し、1830 年代初頭の時期の書簡を電子データとして入手した。他方、ウィリアム・マーシイは後に合衆国国務長官となる人物であるが、1830 年代前半にはニューヨーク州知事を務めていた。マーシイの書簡は *William Learned Marcy Papers* に所蔵されているが、活字化されておらず、マイクロフィルム化もされていないため、製本された原史料を直接閲覧することになった。

続いて、報告者はニューヨーク市に 2 月 19 日から 25 日（現地時間）まで滞在し、ニューヨーク歴史協会図書館 (The Patricia D. Klingenstein Library, The New York Historical Society) にて資料調査を実施した。現地では主として 1830 年代初頭のニューヨーク州の情勢を把握するため、地方新聞ないし党派機関誌等の歴史資料を収集した。とりわけ州都オルバニーの新聞 *Albany Argus* の日刊版を 1832 年頃の時期に絞って重点的に収集した。

往路の航空機はデルタ航空 DL172 便および DL2913 便、帰路の航空機はデルタ航空 DL473 便、都市間の移動にはデルタ航空 DL5904 便を利用した。

今回の海外渡航調査を通して収集された貴重な歴史資料を博士論文作成に向けて今後有効に活用する予定である。

以上